

令和6年度 第2回コンプライアンス委員会

令和7年2月 19日(水) 午前 11 時から 11 時 30 分まで
伊豆の国特別支援学校 会議室

開 会

1 校長あいさつ

2 令和6年度 不祥事の様況

個人情報の 流出・紛失	・連絡ノートの入れ間違い 小学部2件 中学部1件、高等部2件
児童生徒指導上の 不祥事	・体罰なし ・児童の校内搜索 2 件 小学部1件、中学部1件
交通事故	・公務中(通勤を含む) 被害者1件 ・公務外 加害者2件 携帯、量販店の駐車場での事故
不適切な会計処理	・講師の源泉徴収不備、キャッシュレスで支払いした際に、ポイントがついてしまった学年会計処理
職場の 雰囲気づくり	・年度中のメンタル不調者6名 (含 昨年度からの継続3名)

3 令和6年度の不祥事根絶に向けた取組

- ・7/23 「モラルアップ大作戦」～やさしく あたたく ていねいに ～の取組み
- ・12/23 「モラルアップ大作戦」～やさしく あたたく ていねいに ～の取組み
感染症のため中止

4 意見交換

令和6年度校内コンプライアンス委員会委員

学校運営協議会委員 佐藤 政範 四日町区長 山本 能久 寺家区長
大塚 広典 東レ労務課 課長 花村 康太 トーホー社長
大西 邦明 旭化成ファーマ 部長 川島 庸 PTA 会長
村上 昇男 伊豆市観光協会 事務局長

校 長 松本 仁美

副 校 長 勝又 将也

教 頭 井上 みずほ

事 務 長 鈴木 健夫

教 諭 渡邊 康子 神田 光紀 岩谷 俊宏 廣 和子

閉 会

令和6年度 第2回 コンプライアンス委員会 記録

1 校長あいさつ

2 6年度の不祥事

学習時の見守り体制強化、教職員の交通安全意識向上、支払い時のポイント加算などについて報告。

3 不祥事根絶に向けた取り組みについて

交通事故防止、世代間ギャップをテーマに研修を実施。児童生徒指導上の問題点、校内での情報共有システム、交通安全対策について、人と人とのつながりも大事に議論した。校内研修を継続的に実施し、教職員の資質向上を目指す。

4 意見交換

<委員>

- ・本社ではパワハラや仲間のいじり、厳しい指導(これぐらい発言してもという近しい関係)、不適切な発言の事案が発生している。人権問題は未然防止しかない。加害者は注意や処分を受けて終わるが、被害者はその後もケアが必要である。案件を完全に救済しないとならない。明らかなパワハラでなくても指導を受けた方の取り方でハラスメントになる。上司にすると「自分も受けた指導だから」と思うが、残っている人は成功体験の人である。途中退職した人はどう思っていた？どんな環境が働きやすい職場なのか？という研修を行う。

<委員>

- ・今の変わっていく中でどう受け入れるか。意識をどう変えていくか。本社では交通事案については半期に一度、警察に指導をしてもらう。自分たちができるものはしっかりなくしていこうという取り組みをしている。ずっとやっていくことでなくしていくことができる。意識を変えるためにはどうすればいいか、をみんなで考えている。

<委員>

- ・本社では集団が小さいからこそ「近すぎる距離」問題がある。近すぎない、遠すぎない距離は？をみんなで話し合っている。コンプライアンスも大切だが、それ以前に対人間との距離感(昭和、平成、令和の距離感が違う)世代間ギャップについて、Z世代とのコミュニケーション、価値観の違いなどを議論した。適切な距離感の取り方、コンプライアンス意識の向上などが課題である。